

FlexibleEntry® リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



FlexibleEntry Ver 5.0の変更点は次の通りです

1. 追加機能および改善点

- ①マルチテナント機能のセキュリティ性向上
- ②パスワード設定の改善
- ③前回ログイン時間表示機能追加
- ④ログイン画面およびトップ画面・タスク管理機能のUI改善
- ⑤一括更新APIの追加
- ⑥スクリプト同期実行機能追加
- ⑦タスク通知メールの添付ファイル対応
- ⑧タスク完了時の番号払い出し機能追加
- ⑨B2B2X対応の組織階層改善
- ⑩タスク絞り込み条件の保存機能追加
- ⑪タスクの一括ディスパッチ機能追加
- ⑫全件CSV出力機能追加
- ⑬親子様式関連付けの機能追加
- ⑭その他機能追加・改善

2. 不具合の改善

3. 注意事項

- ①クライアントPC・タブレットの推奨環境
- ②様式作成における注意事項

FlexibleEntry® リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



1. 追加機能および改善点

① マルチテナント機能のセキュリティ性向上

DBレイヤでの権限制御にPostgreSQLのRow Level Security機能を利用し、DBユーザ毎にポリシーを定義して操作可能な行を制限することにより、マルチテナント利用時のセキュリティ向上を図りました。なお、本機能追加に伴い、1 APサーバに8テナントまでの利用を標準パターンとして提供します。

② パスワード設定の改善

パスワードのチェックポリシー、有効日数の機能追加により、パスワード管理の柔軟性改善やパスワードのセキュリティ向上を図りました。

詳細は次の通りです。

- ・パスワードの有効期限の設定や初回ログイン時変更を促す機能を追加
- ・パスワードチェックポリシーについて、システム管理者が正規表現で設定可能
- ・テナント自動生成時の初期アカウントのパスワードを推測しづらい値に変更

③ 前回ログイン時間表示機能追加

前回ログイン日時をトップ画面に表示することにより、不正ログインがある場合、ユーザが気づくことにより、セキュリティの向上を図りました。

詳細は次の通りです。

- ・トップ画面の右上に、前回ログイン日時：yyyy/mm/dd hh:mmを表示
- ・前回ログイン日時の表示時間を設定で変更可能

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



④ログイン画面およびトップ画面・タスク管理機能のUI改善

ログイン画面およびトップ画面・タスク管理画面において、新たなデザインを導入した改善を行いました。

詳細は次の通りです。

- ・ログイン画面のUI刷新
- ・メニューの階層化や管理者と一般ユーザのメニューの別表示
- ・タスク管理画面にてワークフローのサマリ表示を追加し、色表示で進捗を示す
- ・操作動線に応じたタスクの基本情報表示や操作機能の配置

⑤一括更新APIの追加

一括処理やワークフロー進捗更新APIを提供することにより、外部システムからの一括処理や進捗変更が可能になりました。

新規追加するAPIは次の通りです。

- ・情報一括登録API
- ・情報一括更新API
- ・ワークフロースキップAPI
- ・ワークフロー戻し（差戻し・再実施）API
- ・ワークフロー引戻し・否認API
- ・情報取下げAPI
- ・情報一括参照API
- ・情報一括削除API
- ・組織情報登録・更新・削除API
- ・アカウント情報登録・更新・削除API

⑥ スクリプト同期実行機能追加

スクリプト機能に画面/タスクとも同期処理を実施できる機能を追加し、リアルタイムの画面再描画やDBコミット処理が可能になりました。詳細は次の通りです。

- ・様式およびワークフローからのScript実行設定（APIパラメータ設定）で同期/非同期を選択可能
- ・スクリプト機能およびそれを呼び出す画面やタスクでの同期処理機能の追加

⑦ タスク通知メールの添付ファイル対応

申込情報の添付ファイル項目に登録された添付ファイルをタスク通知メールに添付して送信可能になりました。

詳細は次の通りです。

- ・タスクメールテンプレートに項目設定のみで添付ファイルを送信可能
- ・添付ファイル送信について、暗号化／非暗号化の設定が可能、暗号化設定の場合、2通目のメールで解凍パスワードを通知
- ・すべてのタスクメールにおいて、送信内容（送信日時、送信先、件名、本文、添付ファイル）をメール送信実体として管理し、システム管理者が参照可能

⑧タスク完了時の番号払い出し機能追加

タスク完了時にシーケンシャルな番号を自動で払出す機能を追加し、決裁完了時の決裁番号払い出しが可能になりました。

詳細は次の通りです。

- ・固定文字と変数、シーケンス（通番）の組み合わせで自動払出ルールを指定可能
- ・自動払出しルールの設定や払出実施の設定をUI上で実施可能
- ・日付変数について、西暦、年度を指定可能

⑨B2B2X対応の組織階層改善

組織情報を第一階層毎に管理し、大量組織がある場合の情報管理・検索等を簡易に実施可能になりました。

詳細は次の通りです。

- ・組織情報を第一階層毎にレコードを分け、第二階層以下は現行通りの階層構造
- ・非表示チェックの項目を追加し、表示が不要な組織をアカウント情報やワークフロー設定画面などの組織設定画面上から非表示とすることが可能
- ・複数会社に跨ったワークフローの場合、複数会社を第一階層で分けて管理可能

⑩ タスク絞り込み条件の保存機能追加

トップ画面・タスク管理画面に検索フィルタ保存機能を追加しました。

詳細は次の通りです。

- ・ユーザがトップ画面・可能になりました。の選択組織、絞込条件、検索条件の組み合わせをフィルタとして保存可能
- ・様式毎の初期表示フィルタを設定可能

⑪ タスクの一括ディスパッチ機能追加

ワークフロー内の実行中タスク・未来のタスクの組織・担当者の一括更新が可能になりました。

詳細は次の通りです。

- ・ワークフロー画面に「ディスパッチ」ボタンを追加
- ・タスクディパッチ画面にて、実行中タスク・未来のタスクを複数選択し、組織または担当者にディパッチ可能

※タスク管理機能のタスクアクションで利用するディスパッチ機能では実行中タスクのみ選択可能

⑫ 全件CSV出力機能追加

日時バッチで指定情報の全件CSVを作成し、画面からそのCSVをダウンロード可能になりました。

詳細は次の通りです。

- ・ 利用会社毎に各情報様式の全件CSV作成有無・最大レコード数、除外ステータスを設定可能
- ・ 利用会社毎の全件CSV出力設定に基づき、日次バッチでCSVを作成して圧縮し、画面からダウンロード可能

⑬ 親子様式関連付けの機能追加

親様式から子様式情報の新規作成や親子関係の一括紐づけ、関連削除が可能になりました。

詳細は次の通りです。

- ・ オーダツリー情報画面にて、親様式の実体に、新規作成、関連削除、検索ボタンを追加
- ・ 子様式申込情報の申込情報登録画面に、関連削除のボタンを追加

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



⑭ その他機能追加・改善

◆ サーバからの実体JSON返却値の改善

- ・サーバからクライアントへの実体JSON返却時、権限制御されている項目については返却しない

◆ 公開APIのセレクト和名返却

- ・公開APIのセレクトの値の返却時に和名（英名）の属性を追加する

◆ ワークフローのループ対応

- ・ループのフロー設定を許容し、多様なワークフローの設定に対応する

◆ セレクト項目のソート順改善

- ・検索結果画面のセレクト項目について、コード値ソートから表示された和名でソートするように改善

◆ ラジオボタンの未選択対応

- ・選択状態のラジオボタンを再クリックすることで、未選択状態に戻せるように改善

◆ 外部API連携時、エラー処理の改善

- ・外部API連携でエラー発生時、他システムのjsonボディを取得可能とする

◆ 申込情報参照範囲の改善

- ・保存を契機に申込情報の参照範囲が増え続ける処理を見直し、申込情報の新規登録アカウント（起票者の）所属する組織と、ワークフローに設定されている組織のみを情報の参照範囲とする

FlexibleEntry®

リリースノート

心をつなぐ、社会をつなぐ



◆ Webメンテナンス機能改善

- ・Excelメンテナンスツールを廃止し、すべての機能をWebメンテナンスツールで巻取る

◆ 検索画面のSQL改善

- ・親子関係の実体検索SQLを1 SQL化し、2000件の上限を超えた検索を可能とする

◆ API連携様式のレスポンスヘッダ改善

- ・API様式のレスポンスタブにヘッダの情報を取得できる項目を追加する

2. 不具合の改善

- FE4.0_0001 : 申請承認画面で承認フローが完了したタイミングで一部のタスク履歴の更新日時が消える不備の改修
- FE4.0_0002 : IE11とedgeで実体情報登録画面でチェックボックスの必須エラー赤枠が途切れる不備の改修
- FE4.0_0003 : 代行者設定のあるユーザが実体検索画面で一覧CSV出力時エラーが発生する不備の改修
- FE4.0_0004 : 添付ファイル更新時、タイトルとコメントが消えてしまう不備の改修
- FE4.0_0005 : 添付ファイルのサイズが大きい場合、実体情報登録画面の表示に時間がかかる性能問題の改善
- FE4.0_0006 : 添付ファイルのサイズが大きい場合、実体情報登録画面の表示に時間がかかる性能問題の改善
- FE4.0_0007 : IE11において、修正、保存を繰り返すと変更確認画面の背景色が薄れる不備の改善

3. 注意事項

①クライアントPC・タブレットの推奨環境

【PC】

- ・OS: Windows7以降
- ・ブラウザ: IE11、FireFox(Ver78以降)、MS Edge(Chromium)、Google Chrome
- ・解像度: 1280×1024以上

【タブレット】

- ・実証済み端末: iOS系 Apple iPad 32GB
- ・ブラウザ: FireFox(Ver78以降)

※シンクライアント環境で利用する場合、十分なCPUリソースが確保されていないと、レスポンス低下を招く可能性があります。

※一部機能がタブレット端末ではご利用いただけません。

②様式作成における注意事項

クライアント側の画面描画性能を保つため、以下の標準範囲内で登録情報やView情報の様式作成を推奨します。下記の標準範囲を超えて業務を行う場合は、別途、性能のチューニングが必要となります。

②-1 様式作成の標準範囲

- ・タブ数は10個以内、様式全体の項目数は500個以内(セレクト項目は50以内)
- ・表形式(参照リスト含む)は10個以内(カラム数は合計で100以内)、
表の行数の平均は50以内、最大は200行まで
- ・項目間制御(セレクト、固定値、非活性、条件必須)は50個以内(表内、表外含む)

②-2 登録情報とViewの検索画面の標準範囲

- ・検索キーは10個以内(参照項目は5個以内)
- ・部分一致の検索キーは3個以内
- ・検索結果一覧の表示カラムは30個以内

②-3 様式階層の標準範囲

- ・様式階層は5階層以内(ツリー表示のオーダ数は100以内)

②-4 ワークフローの標準範囲

- ・メインステータスは10個以内
- ・タスクの総数は200個以内
- ・アラームの条件数は10個以内

②-5 View様式の標準範囲

- ・Viewを構成する情報は5個以内
- ・Viewの表示項目は100項目以内

②-6 権限ロールの標準範囲

- ・ロール数は10個以内

②-7 公開APIの同時実施数

- ・同時実施数は100回以内